

Q60. 透析歴が長くなると皮膚が黒くなるのはなぜでしょうか。その色素をとる方法はあるのでしょうか。

A.

以前は、長期透析患者さんになればなるほど色が黒くなる傾向が認められていました。当時は、十分な透析が出来ずに、尿毒物質が皮膚に貯まったためだとか、輸血によって過剰になった鉄分が、皮膚に沈着して黒くなると言われていました。最近では、皮膚にメラニン色素をつくる細胞が増えることが、黒くなる主な原因とされています。しかし、なぜメラニン細胞が増えるのかは分かっていません。透析技術の発展、特にダイアラザーの改良による除去性能の向上、生体適合性の向上に比例して、透析患者さんの皮膚は、白くなっていると私は感じていますが、長期透析を受けておられる方如何ですか。そうだとするとやはり何らかの尿毒性物質または、血液透析膜を通過する活性化された体内因子が、メラニン細胞増加を刺激しているということになりますかね。これ以上は、現在のところ分かりません。自分の顔色が黒くて気になる方は、ビタミンCを服用されては、如何でしょうか。色素沈着が薄くなる効果があります。

医師